

1 自然環境保全

施策の基本的考え方

- 自然を大切にする意識の高揚と自然保護活動を促進します。
- うるおいを感じる自然環境の保全・創出に努めます。
- 自然と人とが共生できる土地利用を推進します。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
自然環境保全 01	01 自然環境保全・保護の意識の高揚	
	02 自然環境の保全・再生と創出	01 地球温暖化対策事業
		02 道路照明灯改修事業（再掲）
		03 都市公園等照明灯改修事業（再掲）
		04 生活排水対策事業
	03 自然との共生	

02 自然環境の保全・再生と創出

■地球温暖化対策事業 【事業No.03010201】	担当部課係名	環境部	環境保全課・地球温暖化対策担当 環境保全係	ダイヤル	241-4312
-------------------------------	--------	-----	--------------------------	------	----------

事業概要

- 市民、事業者及び行政が協働し、地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出量の削減を図る。

現況と課題

- 地球温暖化問題は、その名のとおり地球規模における、全ての人類が直面している問題であり、地方自治体単位で有効な解決が図れる問題ではないが、市民一人ひとりの意識改革の浸透による、足元からの地道な排出量削減の積み重ねが非常に重要とされる。

今後の事業展開

- 甲府市地球温暖化対策地域協議会の会員の拡大と省エネ対策の普及・啓発。
- 児童・園児を対象とした環境教育の充実・拡大。
- 甲府市環境保全庁内行動計画の継続的な対策の推進。
- 地球温暖化対策実行計画の策定及び、低炭素社会の実現に向けた取り組みの推進。
- 技術開発や普及状況等を考慮する中での、燃料電池（エネファーム）設置世帯に対する助成金の検討。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H22～24)
二酸化炭素排出量削減率(%) (対:平成10年度基準)	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	—	△8.0	△10.0	—	—	△10.0
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H22～24)
	平成21年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	5,677		10,231	9,664	5,677	25,572

■道路照明灯改修事業 【事業No.03010202←No.05050201】再掲	担当部課係名	都市建設部	道路河川課 道路係	ダイヤル	237-5843
---	--------	-------	--------------	------	----------

■都市公園等照明灯改修事業 【事業No.03010203←No.03020101】再掲	担当部課係名	都市建設部	公園緑地課 公園緑地係	ダイヤル	223-6101
--	--------	-------	----------------	------	----------

■生活排水対策事業 【事業No.03010204】	担当部課係名	環境部	環境保全課	ダイヤルイン	241-4312
			公害対策係		

事業概要

- 公共用水域の豊富な水の流れが保たれ、健全な動植物が生息する自然環境の保全を目指し、水質状況調査、浄化槽維持管理指導、浄化槽設置補助、及び市民への啓発事業により、更なる公共用水域の水質改善を図る。

現況と課題

- 公共用水域の汚濁の原因となっている生活排水による負荷の低減を図るため、浄化槽設置者に浄化槽の清掃・保守管理・水質検査の3つの義務についての啓発・指導を強化していくことが必要である。

今後の事業展開

- 公共用水域の水質は、本事業により改善傾向を示しているが、生活排水対策を継続的に推進していくためには、市民、事業者が、行政と協働で実施していくことが重要である。このために、引続き啓発事業、浄化槽の維持管理指導、浄化槽設置補助事業を行う中で、公共用水域の水質改善の検証を行うとともに、甲府市北部の森林地域や地下水も含めた、甲府市全体の「水の循環」を視野に入れた取組みを行っていく。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H22～24)
環境基準値の達成 (mg/l)	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	5.0 以下
	3.4	5.0 以下	5.0 以下	5.0 以下	5.0 以下	
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H22～24)
	平成 21 年度		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	
	15,302		15,433	15,393	15,393	

2 公園・緑地緑化の推進

施策の基本的考え方

- 都市環境の改善や市民のレクリエーション需要に応える都市公園・河川敷緑地等の整備に努めます。
- 健康で文化的な市民生活のために、緑地の保全及び既設公園や動物園の充実に努めます。
- 公共施設及び地域の緑化を推進し、緑豊かな明るい住みよい環境づくりに努めます。
- 市街化区域内やその周辺に広がる農地の保全・活用を図り、緑地の保全に努めます。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
公園・緑地緑化の推進 02	01 公園・緑地の創出	01 都市公園等照明灯改修事業
	02 公園・緑地の保全	
	03 緑化の推進	01 みどり豊かなまちづくり基金事業
	04 農地の保全・活用	

01 公園・緑地の創出

■都市公園等照明灯改修事業（省エネ・グリーン化推進事業）【事業No.03020101】	担当部課係名	都市建設部	公園緑地課 公園緑地係	ダイヤルイン	223-6101
---	--------	-------	----------------	--------	----------

事業概要

- 甲府市の率先した取り組みとして、電気使用量の多い都市公園について、省エネとなる LED 照明に改修を行うことにより、温室効果ガスの効果的な削減に取り組む。

現況と課題

- LED 照明設備 1 本当たりの価格が高価である。
- LED1 個当たりのワット数が低いため、従来の照度を確保するには、LED の個数を多く設置しなければならない。

今後の事業展開

- CO2 削減のため電気使用量の多い都市公園から照度及びコストを検討しながら年次的に導入していく。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H22～24)
公園灯改修本数 (本)	平成 20 年度 —	平成 21 年度 —	平成 22 年度 70	平成 23 年度 11	平成 24 年度 10	91
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H22～24)
	平成 21 年度		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	
	—		28,000	4,540	4,000	

03 緑化の推進

■みどり豊かなまちづくり基金事業 【事業No.03020301】	担当部課係名	都市建設部	公園緑地課 公園緑地係	ダイヤルイン	223-6101
-------------------------------------	--------	-------	----------------	--------	----------

事業概要

- 緑の織りなすゆとりあるまちづくりや花のあるまちづくりの推進を図る。

現況と課題

- 花のあるまちづくりを推進するため、地域自治会等が設置するプランター及び花壇等に花を供給し、植栽や維持管理の実施を図っているが、一部団体を除いて、まだ自らが種をまいて育てていくところまでは受け入れられない状況である。

今後の事業展開

- 「みどり豊かな快適都市甲府」の実現に向け、継続して自らのまちは自らの手でつくると意識の高揚を図る。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H22～24)
花いっぱい緑いっぱい運動の 推進として花の供給数(株)	平成 20 年度 111,534	平成 21 年度 110,000	平成 22 年度 110,000	平成 23 年度 110,000	平成 24 年度 110,000	330,000
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H22～24)
	平成 21 年度		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	
	11,972		10,677	10,677	10,677	

*のついた用語は用語解説をご参照ください。

3 景観形成

施策の基本的考え方

- 都市環境の美化を推進し、公共施設の美観の向上や広告物等の景観への調和に努めます。
- 魅力的な都市景観の誘導に努めます。
- 緑地や自然景観の保全に努めます。
- 市民参加による景観形成活動を促進し、住宅地の良好な景観の確保に努めます。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
景観形成 03	01 総合的な景観形成の推進	01 都市基本計画推進事業（再掲）
	02 都市景観の形成	01 みどり豊かなまちづくり基金事業（再掲）
	03 自然景観の保全・形成	
	04 市民参加の景観づくり	

01 総合的な景観形成の推進

■都市基本計画推進事業 【事業No.03030101←No.05020101】再掲	担当部課係名	都市建設部	都市計画課	ダイヤルイン	237-5814
			計画係		

02 都市景観の形成

■みどり豊かなまちづくり基金事業 【事業No.03030201←No.03020301】再掲	担当部課係名	都市建設部	公園緑地課	ダイヤルイン	223-6101
			公園緑地係		

4 住宅・住環境・定住促進

施策の基本的考え方

- 中心市街地の活性化と魅力あるまちづくりに努めます。
- 社会的セーフティネットとしての公営住宅の整備活用に努めます。
- 開発許可制度などにより、良好な居住環境の誘導に努めます。
- 融資制度や助成制度などの活用により、市内への定住に努めます。
- 住宅耐震化支援制度により建築物の安全性の確保に努めます。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
住宅・住環境・定住促進 04	01 まちなか居住の再生	01 まちなか定住促進事業
		02 中心市街地商業等活性化事業 (再掲)
		03 甲府駅周辺土地区画整理事業 (再掲)
		04 甲府駅周辺まちなか回遊道路整備事業 (再掲)
		05 紅梅地区市街地再開発事業 (再掲)
		06 まちなか回遊道路整備事業 (再掲)
		07 都市計画道路整備検討事業 (再掲)
		08 和戸町竜王線整備事業 (再掲)
		09 まちなか健やかサロン運営事業 (再掲)
		10 中心市街地まちづくり会議運営事業 (再掲)
	02 公営住宅ストックの有効活用	01 公営住宅整備事業
	03 良好な居住環境の誘導	01 アスベスト飛散防止対策事業
	04 市内への定住促進	01 まちなか定住促進事業 (再掲)
	05 建築物の安全性の確保	01 木造住宅耐震化支援事業

01 まちなか居住の再生

■まちなか定住促進事業 【事業No.03040101】	担当部課係名	都市建設部	都市計画課 計画係	ダイヤルイン	237-5814
--------------------------------	--------	-------	--------------	--------	----------

事業概要

- 中心市街地（中心市街地活性化基本計画区域）内において、一般住宅の建築並びに分譲住宅の購入等に対し補助を行い、中心市街地の定住人口の増加をめざす。

現況と課題

- 中心市街地の活性化が効果的に図られるよう、転入者のニーズの把握や地域コミュニティの再生等が重要である。なお、平成21年度は、申込数が予定より多く、当初の15件に加えて20件分の予算を9月補正で追加対応した。

今後の事業展開

- 市民や事業者などへの周知を図り当該制度の利用増進に努めるとともに、補助対象者の意向調査を行い、当該制度の有効性の検証や中心市街地の活性化事業への参考とする。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H22～24)
補助件数(件)	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	—	35	50	63	24	137
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H22～24)
	平成21年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	7,500		25,000	31,500	12,000	68,500

■中心市街地商業等活性化事業 【事業No.03040102←No.04010201】再掲	担当部課係名	産業部	商工振興課 商工振興係	ダイヤルイン	237-5693
■甲府駅周辺土地区画整理事業 【事業No.03040103←No.05010101】再掲	担当部課係名	都市建設部	甲府駅周辺土地区画整理課 換地係・補償係・工事係	ダイヤルイン	230-1029
■甲府駅周辺まちなか回遊道路整備事業 【事業No.03040104←No.05010102】再掲	担当部課係名	都市建設部	甲府駅周辺拠点整備課 整備係・工事係	ダイヤルイン	230-1029
■紅梅地区市街地再開発事業 【事業No.03040105←No.05010301】再掲	担当部課係名	都市建設部	都市計画課 開発指導係	ダイヤルイン	237-5829
■まちなか回遊道路整備事業 【事業No.03040106←No.05010302】再掲	担当部課係名	都市建設部	道路河川課 道路係	ダイヤルイン	237-5843
■都市計画道路整備検討事業 【事業No.03040107←No.05040201】再掲	担当部課係名	都市建設部	都市計画調整担当	ダイヤルイン	237-5814
■和戸町竜王線整備事業 【事業No.03040108←No.05040102】再掲	担当部課係名	都市建設部	都市整備課 工事係	ダイヤルイン	223-7055

■まちなか健やかサロン運営事業 【事業No.03040109←No.01050401】再掲	担当部課係名	福祉部	健康衛生課	ダイヤルイン	237-2586
			保健係		
■中心市街地まちづくり会議運営事業 【事業No.03040110←No.06020102】再掲	担当部課係名	企画部	中心市街地振興課	ダイヤルイン	237-5319
			計画係		

01 公営住宅ストックの有効活用

■公営住宅整備事業 【事業No.03040201】	担当部課係名	都市建設部	住宅課	ダイヤルイン	237-5812
			住宅係		

事業概要

- 老朽化が著しい北新3団地（北嶺荘・竜雲荘・むつみ荘）について、建替事業基本構想に基づいて建替えを進め、耐震化への対応、居住水準の向上等を図るとともに、子育てしやすい環境づくり、高齢者・障害者に配慮した住宅を整備し、安心安全で良好な居住環境づくりと活力ある地域の形成を目指す。

現況と課題

- 北新3団地は、昭和30年度から42年度に建設された団地で老朽化が著しく、浴室未設置など設備水準が低いため、居住環境の改善が必要である。また、団地居住者の高齢化が進んでいるため、自治会単位の地域活動に支障が生じている。

今後の事業展開

- 北新3団地に隣接する北新小学校の整備拡充事業（平成22年度～23年度）と整合を図り、現状の団地と小学校の配置を一部変更することにより、団地を集約して一体的な整備を図ることにより、効率的・効果的な団地建設を推進していく。
- 平成22年度には、3団地の基本設計の策定を行うとともに、最初の建替対象となる竜雲荘入居者の住替えを実施する。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H22～24)
			平成22年度	平成23年度	平成24年度	
住替え戸数（戸）	—	—	90	—	—	90
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H22～24)
	平成21年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	0		61,574	262,106	578,596	902,276

03 良好な居住環境の誘導

■アスベスト飛散防止対策事業 【事業No.03040301】	担当部課係名	都市建設部	建築指導課	ダイヤルイン	237-5828
			建築指導係		

事業概要

- この事業は、本市全ての民間建築物を対象に、建築物に吹付けられたアスベスト等の飛散による市民の健康被害を防止し、その生命及び身体の保護を図るため、その成分調査費用および除去費用に対して補助するものである。

現況と課題

- 経済状況の落ち込みにより、建築物所有者及び管理者の自己負担をする余裕がなく除去を積極的に行う状況にない。

今後の事業展開

- 甲府市のホームページ、広報に掲載しアスベスト含有の有無の調査及び除去に係る補助制度創設を広く市民に周知・啓蒙を図る。また、相談、問合せのあった方について訪問し調査、除去を行うよう指導する。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H22～24)
除去等費用の補助件数 (件)	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	
	2	4	4	4	4	12
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H22～24)
	平成 21 年度		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	
	9,000		8,600	8,600	8,600	25,800

04 市内への定住促進

■まちなか定住促進事業 【事業No.03040401←No.03040101】再掲	担当部課係名	都市建設部	都市計画課	ダイヤルイン	237-5814
			計画係		

05 建築物の安全性の確保

■木造住宅耐震化支援事業 【事業No.03040501】	担当部課係名	都市建設部	建築指導課	ダイヤルイン	237-5828
			建築指導係		

事業概要

- 大規模地震による木造住宅の倒壊から、市民の生命及び財産等を保護すると共に、避難路及び緊急輸送路等の確保による被害拡大の抑制を目的として、地震に強い安心で安全なまちづくりを推進する。

現況と課題

- 大規模地震の発生が懸念されており、建築物の耐震化率*の向上が急がれている。本市においては、無料耐震診断から耐震改修費の補助までの一貫した支援体制が整った。しかし、耐震改修には多くの自己資金が必要となることもあり、申し込みは伸び悩んでいる。

今後の事業展開

- 市民に対し広報活動等を実施しているが申し込みは伸び悩んでいる。今後も引き続き広報活動を行っていくと共に、出前講座等を利用し自治会などを通して事業の啓発に務め、早急に耐震化を進めて行きたいと考えている。
また、国においては、平成 18 年 1 月に建築物の耐震化率の向上を目的として「建築物の耐震改修の促進に関する法律*」を改正し、その中で平成 27 年度までに住宅及び特定建築物などの耐震化率を 90%までに引き上げる数値目標が示され、一層の促進が求められている。このことから、県には耐震改修促進計画の策定を義務付けた。本市は、その計画を見据え、甲府市における耐震改修促進計画の策定を行い、平成 27 年度までの事業の更なる見直しを行い耐震化の促進を進める。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H22～24)
耐震改修費の補助戸数	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	
	10	8	18	18	18	54
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H22～24)
	平成 21 年度		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	
	19,200		20,640	20,640	20,640	61,920

5 上水道

施策の基本的考え方

- 恵まれた水源を安心して未来へとつなぎ、安全でおいしい水道水の供給に努めます。
- 危機管理体制の強化を図るとともに、水道施設耐震化計画に基づく地震対策、浄水場等主要施設の危機管理対策に努めます。
- 経営基盤の強化、事業用資産の適正な管理に努めます。
- 親しみやすくわかりやすい情報の提供、情報共有協働による透明性の高い事業経営、利便性の高いサービスの提供に努めます。
- 環境会計の導入、効率的な水運用、環境負荷の軽減と新エネルギーの活用に努めます。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
上水道 05	01 安心・快適な生活環境の創造	
	02 危機管理対策の充実	
	03 持続可能な事業経営	
	04 満足度の高いお客様サービスの向上	
	05 環境に配慮した事業の推進	

6 下水道

施策の基本的考え方

- 汚水管きよの整備、公共用水域の水質保全に努めます。
- 危機管理体制の強化を図るとともに、雨水管きよの整備による浸水被害の解消、下水道施設の地震対策、合流式下水道*改善に努めます。
- 経営基盤の強化、事業用資産の適正な管理に努めます。
- 親しみやすくわかりやすい情報の提供、情報共有協働による透明性の高い事業経営、利便性の高いサービスの提供に努めます。
- 環境会計の導入、環境負荷の軽減と新エネルギーの活用に努めます。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
下水道 06	01 安心・快適な生活環境の創造	
	02 危機管理対策の充実	
	03 持続可能な事業経営	
	04 満足度の高いお客様サービスの向上	
	05 環境に配慮した事業の推進	

7 河川・水路

施策の基本的考え方

- 一級河川の改修促進に努めます。
- 計画的な整備によって浸水や冠水の防止に努めます。
- 良好な水辺環境形成に向けた河川敷整備に努めます。
- 河川美化に向けた啓発に努めます。
- 水路等の機能確保と財産の適切な管理に努めます。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
河川・水路 07	01 河川の改修	01 一般河川改修事業
	02 浸水地域の解消	
	03 水辺空間の保全・整備	
	04 河川美化・浄化の推進	
	05 水路等の維持・管理	

01 河川の改修

■一般河川改修事業 【事業No.03070101】	担当部課係名	都市建設部	道路河川課	ダイヤル	237-5842
			河川係		

事業概要

- 普通河川、生活関連水路の改修整備を行い、住民の生活環境の向上及び浸水被害から財産保全を図る。

現況と課題

- 豪雨時には排水先の一級河川の増水によって排水がスムーズにできずに上流の一般河川・水路が溢水する状況がある。このように市内一級河川の改修の遅れにより、内水排除に支障をきたしている地区では、効率的な排水系統の整備に苦慮している。

今後の事業展開

- 今後も優先度や事業の効果を考慮しながら継続して事業を進める。

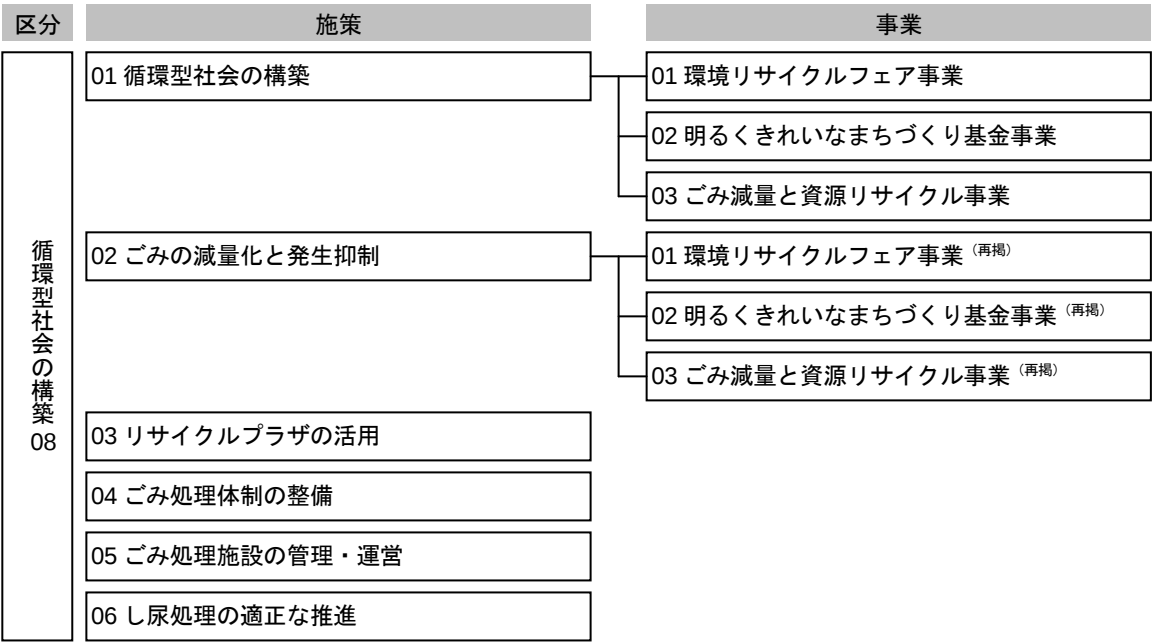
成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H22～24)
河川改修実施率(%) (年度施工延長/年度目標延長)	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	
	43	100	100	100	100	100
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H22～24)
	平成 21 年度		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	
	30,966		86,981	48,813	48,813	184,607

8 循環型社会の構築

施策の基本的考え方

- 分別回収の推進とリサイクル化（再資源化）の推進を図ります。
- ごみ減量化の啓発活動と新たな回収システムの構築に努めます。
- 市民意識の高揚を図るため、環境に関する情報発信に努めます。
- 次期ごみ処理施設の建設推進を図ります。
- 処理施設の適正管理に努めます。
- 収集体制の充実と処理施設の適正管理に努めます。

施策・事業の体系



*のついた用語は用語解説をご参照ください。

01 循環型社会の構築

■環境リサイクルフェア事業 【事業No.03080101】	担当部課係名	環境部	環境保全課	ダイヤルイン	241-4312
			環境保全係		

事業概要

- 環境問題に関する各種情報提供や体験学習等を実施し、環境問題についての市民の理解と意識啓発を図る。

現況と課題

- 来場者数は増加傾向にあるために、更なる環境問題への意識啓発を図る必要があることから新たな企画を検討する必要がある。

今後の事業展開

- 環境問題に積極的な団体、企業、NPO 等の参加を募り、より多くの市民の環境に対する意識啓発が図られるよう努める。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H22～24)
来場者数 (人)	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	
	7,300	8,000	8,500	8,500	8,500	25,500
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H22～24)
	平成 21 年度		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	
	1,000		1,000	1,000	1,000	3,000

■明るくきれいなまちづくり基金事業 【事業No.03080102】	担当部課係名	環境部	減量課	ダイヤルイン	241-4327
			減量係		

事業概要

- ごみの減量に対する市民意識の高揚を図るとともに、ごみの資源化、再生利用等のごみ減量施策を推進するため「甲府市明るくきれいなまちづくり基金」を活用し、甲府市リサイクル推進員連絡協議会*と協働して、市民自らの自発的なごみ減量と資源リサイクルに努める。

現況と課題

- 地域ぐるみとした取り組みの確立

今後の事業展開

- より一層のごみ減量と資源リサイクルを推進するため、リサイクル推進員連絡協議会を通じ、地域住民のごみ減量と分別意識の高揚に努める。
- 指定ごみ袋及びごみ処理券による適正排出への周知と指導を行う。
- ミックスペーパー分別排出の徹底を図る。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H22～24)
家庭系ごみ資源化率 20%以上(%)	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	
	20	20	20	20	20	20
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H22～24)
	平成 21 年度		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	
	5,200		5,200	5,200	5,200	15,600

■ごみ減量と資源リサイクル事業 【事業No.03080103】	担当部課係名	環境部	減量課	ダイヤルイン	241-4327
			減量係		

事業概要

- 地球環境に配慮した施策の更なる推進により分別排出の一層の徹底を図るとともに、甲府・峡東地域循環型社会形成推進地域計画に基づく減量目標達成のための取り組みを展開していく。

現況と課題

- 指定ごみ袋制度の定着と効果の検証
- 市民にとって、より排出しやすい効率的な回収システムの構築
- 廃棄物の発生抑制に向けた、拡大生産者責任の原則の明確化

今後の事業展開

- 持続可能な資源循環型社会の構築に向けては、行政・市民・事業者が個々の責任と役割を果たすとともに、指定ごみ袋制度*の定着を図り、廃棄物の発生抑制、再利用、再資源化の促進可能な環境整備に努めることが大切である。その意味からも、ミックスペーパー*・廃食油回収事業や有価物・資源物回収事業などの実践的事業や「ごみへらし隊」などによる市民意識の向上、低年齢からの環境教育などの啓発事業といった、ごみ減量化・資源化に向けた総合的な施策を実施している本事業は極めて重要であることから、より一層の拡大を図る必要がある。
- ミックスペーパー分別回収については、市民の利便性を高める全地区毎週回収の実施と周知・啓発により、回収量の増を図る。
- 費用対効果を検証する中で、市民にとってより排出し易い効率的な回収方法を構築していく。
- 分別品目を拡大していきながら、より一層のごみ減量と資源リサイクルの推進に努める。
- 啓発、指導業務を更に充実強化する中で、市民意識及び事業者意識の向上を図る。
- 甲府・峡東地域循環型社会形成推進地域計画に基づき、分別品目の見直しと効率的な収集体制について研究を進める。
- 可燃ごみに含まれる廃プラスチックの分別回収について検討する。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値
家庭系総ごみ排出量削減率(%) (対:平成19年度基準)	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	(H22~24)
	△4.58	△7.00	△15.00	△15.50	△15.84	△15.84
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計
	平成21年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	(H22~24)
	476,645		442,981	445,275	445,275	1,333,531

02 ごみの減量化と発生抑制

■環境リサイクルフェア事業 【事業No.03080201←No.03080101】再掲	担当部課係名	環境部	環境保全課	ダイヤルイン	241-4312
			環境保全係		

■明るくきれいなまちづくり基金事業 【事業No.03080202←No.03080102】再掲	担当部課係名	環境部	減量課	ダイヤルイン	241-4327
			減量係		

■ごみ減量と資源リサイクル事業 【事業No.03080203←No.03080103】再掲	担当部課係名	環境部	減量課	ダイヤルイン	241-4327
			減量係		

*のついた用語は用語解説をご参照ください。

9 環境保全

施策の基本的考え方

- 市民参加による河川清掃、不法投棄対策への取り組み等の環境美化活動の推進に努めます。
- 環境基本計画*を推進し、地域からの地球環境保全や環境教育の充実、新エネルギー対策の推進に努めます。
- 特例市*の権限を生かした、公害防止体制の充実や発生源監視体制の充実、苦情処理体制の充実に努めます。
- 環境衛生として、消毒機の貸出、飼い犬・野犬対策の指導・徹底に努めます。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
環境保全 09	01 環境美化	
	02 地球環境の保全	01 ごみ減量と資源リサイクル事業 (再掲) 02 地球温暖化対策事業 (再掲)
	03 公害防止対策	
	04 快適環境の保全	

02 地球環境の保全

■ごみ減量と資源リサイクル事業 【事業No.03090201←No.03080103】再掲	担当部課係名	環境部	減量課	ダイヤルイン	241-4327
			減量係		

■地球温暖化対策事業 【事業No.03090202←No.03010201】再掲	担当部課係名	環境部	環境保全課・地球温暖化対策担当	ダイヤルイン	241-4312
			環境保全係		

10 防災対策

施策の基本的考え方

- 地域防災計画の充実、防災意識の向上、建物等の耐震化・不燃化の啓発促進、避難路・避難場所の確保、急傾斜地等危険地対策の推進、情報システムの充実、緊急医療体制の確立、防災倉庫の整備充実、非常用貯水槽の整備充実、災害ボランティアの育成に努めます。
- 応急物資の確保、通信手段の確保、迅速かつ適切な救助・救急、医療及び消火活動、ライフライン*・交通施設等の応急復旧に努めます。
- ライフライン*の復旧対策、被災者の自立支援に努めます。
- 自主防災組織*の強化、防災意識の高揚に努めます。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
防災対策 10	01 災害に強いまちづくり（予防対策）	01 防災センター*整備事業
		02 非常用貯水槽設置事業
		03 小学校校舎整備拡充事業 ^(再掲)
		04 中学校校舎整備拡充事業 ^(再掲)
		05 小学校屋内運動場整備拡充事業 ^(再掲)
		06 中学校屋内運動場整備拡充事業 ^(再掲)
		07 高等学校屋内運動場整備拡充事業 ^(再掲)
	02 災害応急対策	01 緊急防災対策整備事業
	03 災害復旧対策	
	04 自主防災組織の強化	

01 災害に強いまちづくり（予防対策）

■防災センター整備事業 【事業No.03100101】	担当部課係名	企画部	防災対策課	ダイヤルイン	237-5331
			防災施設係		

事業概要

- 防災センターは、地震及び風水害等の大規模災害時に、災害情報の収集・発信などを行う防災拠点となる施設であることから、防災センターとなる新庁舎には、災害対策本部室、防災行政用無線及び防災備蓄倉庫等の整備を行う。なお、防災行政用無線は、市町村合併により3局となった無線局を1局に統合しデジタル化する。

現況と課題

- 本市の防災行政用無線は、昭和56年度から供用を開始し、設置後28年を経過していることから老朽化による故障が増加している。現在、市内229箇所に放送塔を設置しているが、防災行政用無線は市中心部での中高層ビルの建設や郊外での農地の宅地化等を要因とする難聴地域が増加しており、早期の改修が求められている。

今後の事業展開

- 防災センター整備事業は、新庁舎の建設事業と整合性を図るとともに、1階エントランスホールの防災展示コーナーの内容を検討し、整備を進める。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H22～24)
防災センター整備事業の 進捗率(%)	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	5	10	15	65	90	90
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H22～24)
	平成21年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	20,477		1,954	1,058,954	794,010	

■非常用貯水槽設置事業 【事業No.03100102】	担当部課係名	企画部	防災対策課	ダイヤルイン	237-5331
			防災施設係		

事業概要

- 災害時における住民への飲料水の確保。

現況と課題

- 今後の計画では、平成22年度に南中学校、平成23年度に千塚小学校及び平成24年度には新庁舎に設置する予定である。なお、新庁舎は防災拠点となる施設であることから、新庁舎建設事業との整合性を図ることが必要である。

今後の事業展開

- 災害時の飲料水を確保する重要な設備として市民の関心も高く、計画の達成に向けて着実に事業を進める。
- 災害時に地域住民自ら非常用貯水槽を操作できるように、地域防災訓練等を通して訓練指導を行う。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H22～24)
防災計画に対する非常用貯 水槽の設置率(%)	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	83	87	91	95	100	100
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H22～24)
	平成21年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	58,000		75,000	75,000	58,000	

■小学校校舎整備拡充事業 【事業No.03100103←No.02010601】再掲	担当部課係名	都市建設部	建築営繕課 建築係	ダイヤルイン	237-5862
■中学校校舎整備拡充事業 【事業No.03100104←No.02010602】再掲	担当部課係名	都市建設部	建築営繕課 建築係	ダイヤルイン	237-5862
■小学校屋内運動場整備拡充事業 【事業No.03100105←No.02010603】再掲	担当部課係名	都市建設部	建築営繕課 建築係	ダイヤルイン	237-5862
■中学校屋内運動場整備拡充事業 【事業No.03100106←No.02010604】再掲	担当部課係名	都市建設部	建築営繕課 建築係	ダイヤルイン	237-5862
■高等学校屋内運動場整備拡充事業 【事業No.03100107←No.02020102】再掲	担当部課係名	都市建設部	建築営繕課 建築係	ダイヤルイン	237-5862

02 災害応急対策

■緊急防災対策整備事業 【事業No.03100201】	担当部課係名	企画部	防災対策課 地域防災係	ダイヤルイン	237-5331
--------------------------------	--------	-----	----------------	--------	----------

事業概要

- 災害時に必要となる防災資機材、備蓄用非常食等の確保。
- 消火栓付近に消火栓器具格納箱を設置し、火災時に住民が行う初期消火活動の強化を図る。
- 災害時の地域防災力を高めるため、自主防災組織の育成・強化を図る。

現況と課題

- 災害時に必要となる防災資機材等の整備、拡充に努める。
- 防災資機材の点検整備を定期的に行っているが、老朽化、破損等も増加しているため、維持管理費等が高んでいる。

今後の事業展開

- 防災資機材、備蓄用非常食の品目・数量については、地域の特性及び居住者数等を考慮し、今後も年次的かつ計画的に整備・配置する。
また、各家庭の備蓄については、各種訓練や講習会等様々な機会を通じて市民に周知していく。
- 消火栓器具格納箱については、設置率の低い地区及び自治会を優先して設置していく。
- 自主防災組織のリーダーを対象として、実践的・効果的な研修会を開催し、防災対応力の向上を図る。

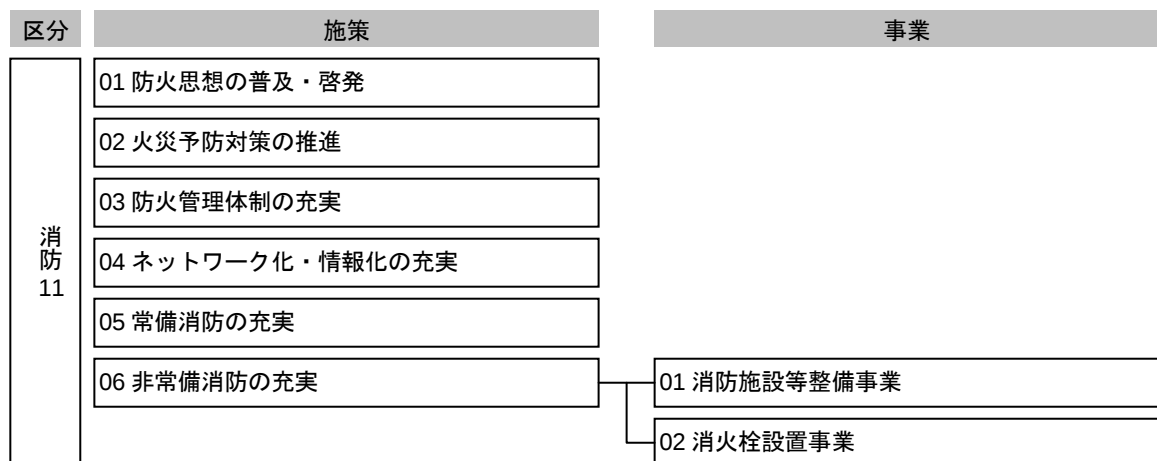
成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H22～24)
消火栓器具格納箱一式の 設置率(%) (消火栓器具格納箱数/消火栓数)	平成 20 年度 56	平成 21 年度 56	平成 22 年度 57	平成 23 年度 58	平成 24 年度 59	59
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H22～24)
	平成 21 年度		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	
	11,626		26,049	21,613	20,656	

1 1 消防

施策の基本的考え方

- 火災予防に向けての防火思想の啓発に努めます。
- 予防・査察体制の強化、危険物等の安全指導の充実に努めます。また、住宅火災予防対策として、住宅用火災警報器等の設置推進に努めます。
- 事業所などの防火管理体制の充実にに向けた指導に努めます。
- 高機能消防指令センターを活用し、住民の安心・安全に努めます。また、庁内ネットワークを活用し、効率的な消防行政の推進に努めます。
- 消防施設及び装備の強化に努めます。
- 消防団車両及び資機材の整備・充実、消防団員の確保と資質向上、耐震性消防水利施設の整備に努めます。

施策・事業の体系



06 非常備消防の充実

■消防施設等整備事業 【事業No.03110601】	担当部課係名	消防本部	警防課・人事課	ダイヤルイン	222-4119
			警防係・消防団係		

事業概要

- 災害時に有効に活用できるよう整備するとともに、市民の生命・身体及び財産を守り、被害を最小限に抑えることを目的とする。

現況と課題

- 合併により、積載車及び小型動力ポンプ各8台が増加したことにより、さらに更新サイクルが長期化するため、更新台数を増加する必要がある。また、耐震性貯水槽の設置にあたり、設置場所の確保が年々困難になってきており、工事費も増額傾向にある。

今後の事業展開

- 各分団に配備してある小型動力ポンプ積載車及び小型動力ポンプを計画的に更新するとともに、常時良好に運用できるよう点検、整備を図る。
- 耐震性貯水槽は、災害発生時に最も有効な水利であり、設置を継続的に実施することにより、市民生活の安全が確保できるという観点から、継続的な事業推進が必要である。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H22～24)
耐震性貯水槽設置進捗率 (設置延べ数/設置計画数) (%)	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	92.8	95.4	96.4	98.2	100	100
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H22～24)
	平成21年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	49,906		40,489	62,874	62,790	166,153

■消火栓設置事業 【事業No.03110602】	担当部課係名	消防本部	警防課	ダイヤルイン	222-1269
			警防係		

事業概要

- 市街地及び周辺地域に消火栓を設置することにより、火災発生時における住民による初期消火活動が容易になり、消防隊の水利部署により有効に火災防御ができる。

現況と課題

- 消防水利の基準に基づき計画的に設置をしているが、住宅密集地等の道路幅が狭く、消防車両が進入出来ない地域や、水道配管の口径が消防水利の基準に適合しない地域など、消火栓を設置できない地域がある。

今後の事業展開

- 消火栓設置事業については、緊急に整備を要する設置箇所(50箇所)を平成20年度から平成22年度までの3ヵ年整備計画(50栓設置)により、事業を実施しているところであるが、消防隊による実際のホース延長など図面上の設置計画だけでは実情にそぐわない箇所や、宅地開発、道路拡幅工事などにより消火栓の設置必要箇所の増加が見込まれるため、引き続き事業の推進が必要と思われる。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H22～24)
消火栓設置進捗率 (当該年度の実績/当該年度の目標) (%)	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	82.3	100	100	100	100	100
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H22～24)
	平成21年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	12,920		15,884	8,360	8,360	32,604

1 2 防犯対策

施策の基本的考え方

- 犯罪や非行のない明るい社会を築くために市民一人ひとりの防犯意識の向上に努めるとともに、街路灯の経費助成を行うなど犯罪を誘発しない環境づくりに努めます。
- 関係機関との連携による防犯体制の強化に努めます。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
防犯対策 12	01 地域防犯力の向上（地域防犯活動の促進・支援）	01 街路灯助成事業
		02 学校防犯対策事業（再掲）
	02 防犯体制の強化	01 街路灯助成事業（再掲）
		02 学校防犯対策事業（再掲）

01 地域防犯力の向上（地域防犯活動の促進・支援）

■街路灯助成事業 【事業No.03120101】	担当部課係名	市民生活部	市民対話課 地域振興係	ダイヤルイン	237-5298
-----------------------------	--------	-------	----------------	--------	----------

事業概要

- 防犯及び交通安全対策のために、自治会が設置した街路灯に要する経費の補助を行い、自治会負担の軽減を図り、安全で明るい地域社会の形成に寄与する。

現況と課題

- 現況の防犯街路灯のほとんどが蛍光灯であるが、消費電力を大幅に抑え、温室効果ガスの効果的な削減が期待できる設備への変更と自治会の設置費の負担増が課題である。

今後の事業展開

- 現行制度のまま引続き事業を実施していく。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H22～24)
助成対象灯数	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	
	20,929	21,022	21,298	21,398	21,498	64,194
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H22～24)
	平成 21 年度		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	
	50,417		45,818	50,873	50,873	147,564

■学校防犯対策事業 【事業No.03120102←No.02010501】再掲	担当部課係名	教育部	学事課・学校教育課 学事係・学務係	ダイヤルイン	223-7322
--	--------	-----	----------------------	--------	----------

02 防犯体制の強化

■街路灯助成事業 【事業No.03120201←No.03120101】再掲	担当部課係名	市民生活部	市民対話課 地域振興係	ダイヤルイン	237-5298
---	--------	-------	----------------	--------	----------

■学校防犯対策事業 【事業No.03120202←No.02010501】再掲	担当部課係名	教育部	学事課・学校教育課 学事係・学務係	ダイヤルイン	223-7322
--	--------	-----	----------------------	--------	----------

1 3 消費生活

施策の基本的考え方

- 消費者が自主的合理的に行動できるよう消費者の自立支援に努めます。
- 消費者に対し、消費者教育の充実に努めます。
- 消費者相談の充実に努め、適切かつ迅速な処理を進めます。
- 消費者モニター制度*の推進と適正な計量の実施の確保に努めます。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
消費生活 13	01 消費者利益の擁護及び増進	
	02 消費者教育の推進	
	03 消費者相談の充実	
	04 適正な計量の実施	

1 4 交通安全対策

施策の基本的考え方

- 関係機関との連携による交通安全意識の向上に努めます。
- カーブミラーなど各種交通安全施設の点検・整備、甲府市交通安全計画に基づく諸施策の推進に努めます。
- 交通災害共済への加入促進と交通事故相談体制の充実に努めます。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
交通安全対策 14	01 交通安全意識の向上	01 交通安全対策事業
	02 交通環境の整備・向上	01 交通安全施設整備事業
		02 自転車対策事業
	03 交通事故被害者の救済	

01 交通安全意識の向上

■交通安全対策事業 【事業No.03140101】	担当部課係名	市民生活部	消費生活センター	ダイヤルイン	237-5303
			交通安全係		

事業概要

- 正しい交通ルールと交通マナーの徹底と交通安全意識の高揚を図る。
- 交通安全施設の整備を推進する。

現況と課題

- 65歳以上の高齢者及び自転車関係する交通事故が年々増加している。このような状況を踏まえ、さらなる交通事故防止を強力に推進し、市民一人ひとりが思いやりをもって、命の尊さを認識し交通安全に真剣に取り組むよう、交通安全思想の普及と認識の徹底を図っていく必要がある。
- 交通安全施設の整備については、予算が削減される中、地元の要請にも十分に答えられない状況にあり、設置申請の受理から設置までの期間が長期化する傾向にある。

今後の事業展開

- 山梨県や地元の警察署をはじめとする関係機関及び団体との連携・協調のもと、春・秋の全国交通安全運動をはじめ、各種の交通事故防止事業等に参画するとともに、幼児・児童・小学校PTA及び高齢者を対象に交通安全教室を充実し、交通安全意識の高揚に努める。
- カーブミラー・自発光式交差点板の交通安全施設の整備を進めていく。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H22～24)
甲府市内における 交通事故発生件数	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	1,990	2,165	1,900	1,900	1,900	1,900
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H22～24)
	平成21年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	7,253		6,938	6,938	6,938	20,814

02 交通環境の整備・向上

■交通安全施設整備事業 【事業No.03140201】	担当部課係名	都市建設部	道路河川課	ダイヤルイン	237-5843
			道路係		

事業概要

- 市民の交通安全の確保及び交通事故防止を目的に、甲府市が管理する道路における、交通安全施設の整備充実を図る。

現況と課題

- 交付金対象事業を主とするため、事業対象の範囲、規格が制限される。

今後の事業展開

- 市民生活における交通上の安全と快適性に貢献する事業として、交付金を活用し、交通安全担当や警察関係者とも協議を行い、必要とされる交通安全施設の設置を年次的に推進する。
また、道路の新設・改良等により道路案内標識の設置・変更が必要な箇所に、案内標識の設置・改良を行う。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H22～24)
交通安全施設の執行率(%) (設計金額/予算金額)	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	
	102	100	100	100	100	100
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H22～24)
	平成 21 年度		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	
	56,410		57,608	48,000	48,000	153,608

■自転車対策事業 【事業No.03140202】	担当部課係名	市民生活部	消費生活センター	ダイヤルイン	237-5303
			交通安全係		

事業概要

- 市営駐輪場を利用することで甲府駅周辺及び中心商店街の放置自転車を解消し、まちの景観の保全や通行障害の解消に繋げる。

現況と課題

- 中心街の市営駐輪場は、買い物客が店舗前に駐輪して買い物をするため、利用が少なく、放置自転車禁止区域を設置するには、商店街の理解と協力が必要である。
- 安価で買える自転車の増加に伴い、長期放置自転車が増加している。

今後の事業展開

- 利用が低迷している中心街の駐輪場や酒折駅北口駐輪場の利用拡大を図るとともに、道路管理者と連携を図り、歩道や道路の放置自転車の撤去や市営駐輪場内の放置自転車等の実態を定期的に把握し、長期放置自転車の撤去を行う。
- 自転車利用マナー向上の啓発を図る。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H22～24)
市営駐輪場の利用率(%) (利用台数/収容可能台数)	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	
	51.2	55.0	65.0	75.0	80.0	80.0
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H22～24)
	平成 21 年度		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	
	4,416		4,457	4,457	4,457	13,371